

地震が発生したら…安全な避難のために

■地震発生時

まず、身の安全を確保!
机やテーブルの下に隠れましょう。または手近なクッション、布巾などでお腹を保護しましょう。

すばやく火の始末を!
使用中のガス器具・ストーブなどの火を消しましょう。

戸を開けて出口の確保を!
ドアが開かなくなることもあります。窓やドアを開けて避難口を確保しましょう。

■揺れがおさまったら

火元の確認!
ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落としましょう。

火が出たらすぐ消火!
万が一、出火したらあわてず消火しましょう。天井に燃え移る前なら消火器で消火できます。

家族の安全を確保!
避難開始!
非常持出袋を持ち、速やかに避難しましょう。

■避難のときは

あわてて外に飛び出さない!
落下物の危険もあります。あわてず避難しましょう。

狭い路地・ブロック塀には近づかない!
ブロック塀や自動販売機が倒れる危険があります。

避難は徒歩で
車での避難は危険な上、救急車両の出動の妨げにもなります。歩いて避難しましょう。

■避難後は

協力しあって応急救護
地域ぐるみで協力しあって、応急救護体制を取りましょう。

正しい情報を聞く
正しい情報はひとつです。間違った情報に惑わされず的確な行動をしましょう。

余震に注意!
余震で倒壊しそうな建物や、ブロック塀には近づかないようにしましょう。

■屋内にいたら…

家の中
座布団などで頭を保護し、急いで机の下などに隠れましょう。使用中のガス器具・ストーブなどは、すばやく火を消しましょう。(元栓を締めろ)
電気のブレーカーを落としましょう。

地下鉄
壁や太い柱に身を寄せましょう。停車になっても非常用照明灯がすぐに点くので、落ちついて行動しましょう。
火災が発生し、煙が充満したときは、ハンカチなどで鼻と口を覆い、壁つたいに這うようにして、冷たい空気が流れてくる方向へ避難しましょう。

スーパー・デパート
バッグなどで頭を保護し、ショーケースなどから離れましょう。
壁や太い柱に身を寄せましょう。
あわてず、係員の指示に従いましょう。
避難の際は階段を使い、エレベーターは使わないようにしましょう。
万が一、エレベーターの使用に止まったら、連絡電話を使って救助待ちましょう。

オフィスビル
カバンなどで頭を保護し、急いで机の下などに隠れましょう。
本棚など、備品の転倒に注意しましょう。

劇場・ホール
あわてて出口に殺到せず、係員の指示に従いましょう。
入場時に非常口の場所を確認しましょう。

■屋外にいたら…

住宅街
ブロック塀や石垣からすぐに離れましょう。
ガラスの破片や屋根瓦などが落ちてくる場合がある。建物の周りには近づかず、公園などの空き地に避難しましょう。

商店街・ビル街
その場に立ち止まらず、バッグなどで頭を保護し、公園などの空き地へ避難しましょう。
自動販売機、ブロック塀、ビルのそばなどは近づかないようにしましょう。
揺れ下がった電線には近づかないようにしましょう。
ガラスの破片、看板などの落下に注意しましょう。

自動車の運転中
道路の右側か空き地に車を停め、エンジンを止めましょう。
警察官が交通規制を行っている場合は、その指示に従いましょう。
車を離れるときは、キーをつけたままにし、ドアをロックしないでください。
貴重品は忘れずに持ち出しましょう。

電車や地下鉄の中
急停車することがあるので、つり革や手すりなどにしっかりとつかまりましょう。
途中で止まっても勝手に行動せず、乗務員のアナウンスに従って落ちついて行動を取りましょう。

避難施設に看板が設置されました!

神川町地域防災計画で指定されている町内 27 か所の避難場所・避難所に、有事の際の避難施設であることを広く周知するため案内看板を設置しました。
お住まいの地域の避難場所を日頃より家族で確認し、実際に避難所まで歩いてみる等、万が一の災害に備えてください。

問合せ 防災環境課 ☎0495 (77) 2124



Q. 避難場所と避難所は違うの?

A. 避難場所とは、災害発生時に一時的に周囲の安全が確保できる公園や広場のこと。避難所とは、災害で住居を失った方などの一時的な生活場所になる、公民館や小・中学校等の体育館などの屋内施設のことです。

防災行政無線による Jアラート伝達訓練

Jアラートとは地震・津波等や武力攻撃などの災害時に、国から送られてくる緊急情報を、人工衛星などを活用して瞬時に情報伝達するシステム。このシステムが確実に動作することを確認するため、町内全ての防災行政無線及び防災ラジオで訓練放送を行います。訓練放送ですので、実際の災害とお間違えのないようご注意ください。

日時: 6月23日(木) 午前10時15分頃

内容: 緊急地震速報の訓練放送 ※気象状況等によっては、訓練放送を中止する場合があります。

問合せ: 防災環境課 ☎0495-77-2124

家の防災チェックシート

場所	○/×	チェック項目
玄関		靴や傘をきれいに整理整頓している (出入り口がふさがっていない)
		ドアや引き戸がきちんと開く (出入り口が狭くなっていない)
		スリッパを常備している
		照明器具を安全に設置している (落下しないよう固定している)
キッチン		火のそばに燃えやすい物を置いていない
		消火器を設置している (消火器の場所を把握している)
		火災報知器を定期的に点検している
		食器棚や冷蔵庫が転倒しやすくなっていない (固定など、転倒防止策を行っている)
廊下		照明器具を安全に設置している (落下しないよう固定している)
		避難経路を確保している
		スリッパを常備している
寝室		転倒しやすい家具や落下するものがない (固定など、転倒・落下防止策を行っている)
		照明器具を安全に設置している (落下しないよう固定している)
		窓にガラス飛散防止フィルムをはっている
その他		非常用持出物は手の届く範囲にある 家族の集合場所を(避難所)を決めてある

町内の避難場所・避難所

避難場所・避難所名称	種別	避難場所・避難所名称	種別	避難場所・避難所名称	種別
1 神川中学校	避難場所・避難所	10 美原公園	避難場所	19 ステラ神泉	避難所
2 旧神泉中学校	避難場所・避難所	11 丹荘公園	避難場所	20 矢納センター	避難所
3 丹荘小学校	避難場所・避難所	12 青柳公園	避難場所	21 秩父瀬集会所	避難所
4 青柳小学校	避難場所・避難所	13 中央公民館	避難所	22 池尻集会所	避難所
5 渡瀬小学校	避難場所・避難所	14 就業改善センター	避難所	23 桜城集会所	避難所
6 神泉小学校	避難場所・避難所	15 ふれあいセンター	避難所	24 貫井・幹沢集会所	避難所
7 神川幼稚園	避難場所・避難所	16 総合福祉センター・いこいの郷	避難所	25 住居野集会所	避難所
8 丹荘保育所	避難場所・避難所	17 渡瀬コミュニティ集会所	避難所	26 城峯公園キャンプ場	避難所
9 青柳保育所	避難場所・避難所	18 元阿保公会堂	避難所	27 冬桜の宿 神泉	避難所